



上天草市立上天草総合病院

地域医療連携通信

上天草総合病院理念
信頼される地域医療
基本方針

1. 私達は、患者様中心の医療をめざします。
2. 私達は、地域に根ざしたところあたたかな医療を提供します。
3. 私達は、患者様に快適で安全・安心な医療を提供します。
4. 私達は、退院後も安心して療養できる病院をめざします。
5. 私達は、常に自己研鑽に努め、医療水準の向上に励みます。
6. 私達は、健全な病院経営をめざします。

上天草市立上天草総合病院 地域医療支援部(直通)

電話:0969-54-7373 FAX:0969-62-1547

住所:866-0293 熊本県上天草市龍ヶ岳町高戸1419-19

電話:0969-62-1122(代) FAX:0969-62-1546(代)

URL: <http://www.cityhosp-kamiamakusa.jp/>Eメール: kamiama@cityhosp-kamiamakusa.jp

発行責任者:地域医療支援部長 城野 英利



新年の御挨拶

病院長 脇田 富雄



新年明けましておめでとうございます。平素より当院および関連施設の運営に、ご支援ご協力を賜り誠にありがとうございます。旧年中は、コロナ禍ではございましたが、医師会の先生方をはじめ、地域の保健・医療・介護・福祉等に関わっておられる皆様方に大変お世話になりました。この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

昨年、年始から入院患者に対する面会禁止を一昨年からの継続で行ってまいりましたが、一年中禁止で持続することになるのではないかと危惧しておりましたが、第5波の急速な収束により面会禁止から面会制限へと、若干ですが緩和することができました。但し、変異株であるオミクロン株の出現など、今後第6波が押し寄せてくる可能性は高いものと考えられます。そうすると、また面会禁止にせざるを得ません(もしかしたら、年末に第6波が始まり、面会禁止となっているかもしれませんが…)。昨年は、会議や研修会・講演会などはほぼWeb・オンライン方式で開催され、アフターコロナ時代を見据えた対応が進んできています。昨年の流行語大賞は、「リアル二刀流/ショートタイム」となりましたが、会議・研修会その他も、二刀流で今後も進んでいくのではないかと思います。

COVID-19に対するワクチン接種が第5波の収束に好影響を与えたことは間違いないと考えますが、12月から3回目のワクチン接種が開始されております。今後、高齢者更には一般住民への3回目のワクチン接種が進んで感染がひどくならないことを期待しています。

なお、地方では少子高齢化が進んでおり、天草地域の高齢化率は40%に達しています。高齢者は新型コロナウイルスにより命を奪われる可能性は若年者に比べると極めて高いとされておりますが、新型コロナウイルス感染症の第5波の時は高齢者に対するワクチン接種が進んでいたため、高齢者の重症例・死亡例が減少したことは周知のとおりです。また、2大死因であるがん、循環器疾患(脳卒中、心疾患)に対して、「がん対策基本法」によるがん対策の充実、「循環器病対策基本法」による循環器疾患対策を充実したものとして、健康寿命の延伸を図ろうとしています。熊本県でも先日の令和3年11月11日に開催された「令和3年度熊本県保健医療推進協議会」の中で、熊本県循環器病対策推進計画の素案が提示されたようです。少子高齢化に対して、元気な高齢者が増えれば、少しの問題解決になるのではないのでしょうか。

昨年の干支である丑年は「芽が種の中に生まれ、まだ伸びることができない」状態で、今年の干支の「寅年」は「春が来て根や茎が生まれる」状態といわれます。昨年の「丑」の年を生き抜くことができましたので、今年の「寅年」がより良い年になるよう期待いたします。住民の皆さんが住み慣れた地域で末永く元気に暮らしていけるように、自治体病院として、保健・医療・介護・福祉に関わる多くの施設・職種の方々と連携を深め、皆様方から信頼される医療機関を目指して、今後も取り組んでいきたいと考えております。本年も地域の皆さまのご理解とご支援をよろしく願います。

令和4年正月

年頭にあたり 「星空と、さえぎる雲」

上天草市病院事業管理者 岸川 秀樹



2022年、新年明けましておめでとうございます。新しい年になりカレンダーが替わります。当院では院内で使用するカレンダーを職員が手作りしています。前年カレンダーは、病院玄関を入れ満天の星空を見上げる写真入りでした。ジャイロセンサー搭載スマホに星座盤というソフトをダウンロードし星空に向けますと、向けた方向の星の名前を教えてくださいるので、上天草に来て、私は、にわか天体ファンになりました。22時、深夜2時、4時頃にスマホを夜空にかざす姿は怪しい姿だったと思います。雲がかかるとはがっかりしますが、夜空の一部に星がみえる時もあります。もちろん、月が明るすぎても見えにくくなります。皆様には当たり前の事でしょうが、星空が見えにくいところで生活してきた私には新鮮な体験でした。

当院に加わり1年数か月が経ち、その間に首相交代もありました。いろいろな理由があったのですが、新型コロナウイルスへの対応で難しい医療政策と経済対策となり、その対応が不十分、かつ後手に回っていた、との批判が多かったように思います。しかし、2年前に新型コロナウイルス感染症が始まった時に、世界でこれほどの感染者や死亡者が出て、社会にどのような影響がでるのかを見通すことのできた人は少なかったのではないのでしょうか。後から関係者の対応を批判するのはたやすいことです。むしろ、十分な対策ではなかったが、一定の成果を出していると評価し、財源を捻出するためにどのようにすべきか、を議論する社会であってほしいと思います。医療の現場でも「後医（コウイ）は名医」と言われます。2名の医師が診察すれば、最初に診察した医師の意見を参考に多面的に考察できる後医（後日診察する医師）のほうが、より良い診断やアドバイスができることと解釈できます。前医（初診の先

生）の努力が、後医を名医に仕立てやすいとも言えます。

ところで、私の音楽的嗜好は1970年代で停止しています。時代が下がるにつれ、アップビートの音楽になり、私には早口言葉のように聞こえることも関係しています。懐メロCDを購入してみました、アン・マレーという歌手が歌う「青春の光と影」という曲が入っていました。原曲はジョニ・ミッチェルという女性歌手の作曲だそうで、60年代から何度も聞いた曲ですが、英語で意味はわからず、メロディーのみ記憶に残っていました。インターネットで歌詞の邦訳を検索しますと、（さえき奎さんの訳）で「（雲をみながら）風になびく天使の髪、空に浮かぶアイスクリームのお城、そしてあちこちへ流れて行く羽毛の溪流。わたしはそんな風に雲をみていたわ。けれど、今それは太陽を覆い隠し雨や雪を降らせるだけのもの、やりたいことがたくさんあったのに雲が邪魔をして来たの。わたしは雲を両側から見つめている、（中略）今わたしは人生を両側から見つめている。本当は人生のことなど何もわかつちやいないんだって。」原題は「Both Sides Now（今では、両面から）」で、歌声から想像した、雲を見ながら子供がアイスクリームをねだる歌ではなく、青春の甘美さなどを歌うものでもなく、歳月を経れば物事を両面から見ることができる、という内容でした。医療の現場で、何もわかつちやいなかった、のでは困りますが、一面からのみでなく、反面からも情報を集め、より適切な診断治療に到達したいと思います。

新型コロナウイルス感染症に関しては、事象の両面から考えても、良い面があるようには思われず、夜空をさえぎるようなコロナ感染症が今年終息することを願っています。今年も上天草市の皆様のお役に立てるよう、職員一丸で頑張っまいります。よろしく御願いたします。

新年の御挨拶

看護部長 山中小百合



明けましておめでとうございます。コロナ禍での2回目の年越しとなりましたが、皆様はどのようなお正月を過ごされましたか？賑やかとはいかなくてもご家族揃って、ゆっくりと過ごされたのではないのでしょうか。

対策は継続しなければなりません。患者さんにご家族さんの不安や苦悩を考えますと大変心苦しく思います。また、地域の関係機関の皆様にも引き続きご不便をおかけすることになりますが、ご理解とご協力をお願いいたします。このような状況だからこそ、今まで以上に患者さん・ご家族さんの気持ちに寄り添う医療・看護を実践していきたいと考えています。さらに医療・福祉のコミュニケーションを深め、今まで以上に連携を強化することで、上天草市の皆様がこの地域で安心して入院生活ができるよう努めてまいります。今年もどうぞよろしくお祈りいたします。

当院では、新型コロナウイルス感染症対応として面会禁止が1年以上も継続していましたが、昨年11月にやっと面会制限へと緩和することができました。わずかな時間ではありますが、ご家族と対面してお話ができ、少し安心することができたのではないかと思います。

皆様にとって今年が良い年になりますように祈願いたします。

しかし、新たな変異株の出現もあり、今後も感染

謹んで新年のお慶びを申し上げます
旧年中は大変お世話になり有難うございました
新しき年の皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます
本年も地域医療及び介護の連携を宜しくお祈り申し上げます

地域医療支援課 一同



研修会・勉強会の行事予定表

1月14日(金)	(学研・基礎研修) 多重課題を理解する！ 事例で学ぶ優先順位とコミュニケーション	15:00～ 当院6階講堂
1月21日(金)	心臓リハビリテーション教室 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	14:00～ 当院6階講堂
1月28日(金)	がんサロン 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、当面の間、開催は中止します。	13:30～ 当院6階講堂

編集後記

○新年おめでとうございます。2022年となりました。今年の干支は、「壬寅」（みずのえとら）となりますね。干支は十干（じっかん）と十二支の組み合わせでできていますが、十干は太陽を、十二支は月を象徴とした生命の循環を表したものです。その起源は、中国の古い思想である陰陽五行説を礎にしたものです。では今年の「壬寅」は、「壬」は「妊に通じ、陽気を下に妊（はら）む」、「寅」は「蟻（ミミズ）に通じ、春の草木が生ずる」という意味があります。イメージとしては、『厳しい冬を越えて、芽吹き始め、新しい成長の礎となる』です。私的には、コロナ禍を乗り越えて新しい世界への扉が開くことを願っています。（城野）



1月 診療案内

※は、熊大応援医師

	月	火	水	木	金	休診日
内科	和田 正文 林 広隆 中原 大智	岸川 秀樹 和田 正文 原田 裕士 林 広隆	林 広隆 中原 大智 中村 太造	和田 正文 原田 裕士 中原 大智	細川 貴規 原田 裕士	
	※1/24(月)の林医師の外来診療は休診となります。					
代謝内科	※花谷 聡子	-	-	岸川 秀樹	※小野 薫 (第3・5) ※大津 可絵 (第1・2・4)	
脳神経内科	-	-	-	林 広隆	-	
	※毎週木曜日、予約制の診療(午前)となります。					
腎臓内科	-	-	細川 貴規	-	-	
循環器内科	脇田 富雄	脇田 富雄	-	-	脇田 富雄	
小児科	船曳 哲典	※熊大	船曳 哲典	船曳 哲典	船曳 哲典	
外科	城野 英利	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	城野 英利	城野 英利 (予約のみ)	
	※毎週水曜日、金曜日の城野医師の診療は予約のみとなります。					
消化器科	坂口 将文 (新患)	坂口 将文 (新患)	-	-	-	
整形外科	藤松 晃一	※上原 悠輔	藤松 晃一 (再診のみ) 村上 直也	藤松 晃一	村上 直也	1/18(火)
	※毎週火曜日の診療開始は10時50分からとなります。 ※毎週水曜日の藤松医師の診療は再診のみとなります。					
耳鼻咽喉科	-	※熊大	-	※熊大	※熊大	1/4(火)
眼科	栗井 麻衣子	竹下 哲二	竹下 哲二 ※熊大 (第1・3・5)	竹下 哲二	竹下 哲二	
	※第1・第3・第5水曜日は、熊大医師による診療となります。					
皮膚科	-	-	-	江頭 翔	-	
泌尿器科	-	西 一彦	-	-	西 一彦	
超音波・ 内視鏡センター	坂口 将文	坂口 将文	※松野 健司	城野 英利 (健診のみ)	※蔵野 宗太郎	
歯科・口腔外科	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	福田 敏博	
	※午後は、13時～16時30分までの受付です。					
教良木診療所 応援	原田 裕士	中村 太造	応援	応援	中原 大智	
御所浦診療所 応援	竹下 哲二 (午前)					

※診療受付時間は午前8時30分～11時30分までです。

※脳神経外科は月2回(第2、第4水曜日)の午後2時より診療を行います。(予約制)

※診療案内は都合により変更となる場合があります。ご了承ください。